

なりきりケーススタディ（本来のスライドを元に作成しています）

■概要

ケーススタディとは、現実起こった具体的事例を分析、検討し、疑似体験を通して問題解決力だけでなく、分析力や洞察力、論理的思考力、戦略構築力など、経営者やリーダーに必要な能力を養成することを目的とした学習法です。

そして、今回はそれに加えて性格、年齢、立場の異なる登場人物になりきって討論を行なっていただきます。

■目的

普通のケーススタディではあくまで客観的かつ冷静に物事を捉えられるので、比較的の問題を解決しやすい点が挙げられます。

登場人物になりきるとという過程を踏むことにより、その人物の心境を擬似的に体験することが出来るので、立場の違う人物の状況がより理解できるようになります。

そして、その上で解決策を導くことで従来のケーススタディより、分析力や論理的思考能力が養われると考えています。

■ゲームの流れ

フェイズ 1. 配役を決める

後ほど紹介する A、B、C、D、(X) を話し合いによりどの役を誰が行うか決定してもらいます。
但し、年代や立場が今の自分と被らないようにしてください。

フェイズ 2. 討論

役になりきった上で問題に対して、その役である自分の主張を行なってください。

フェイズ 3. 振り返り

役を解除して（素に戻って）客観的に見てそれぞれの人物（A～D）が本来どうするべきだったかを話し合ってください。

フェイズ 4. 発表

以下の観点で発表を行って頂きます。

- ・ なりきった上で討論を行ってどんな問題が発生したか
- ・ 今後この問題が発生させない、また問題を速やかに解決できるようにするためにそれぞれの人物が意識すること

■ルール

- ・ 謝らない
→あくまで自分が悪いと認めない)
- ・ 自分に話が振られている場合、他の人に話を振る
- ・ 無礼講
→ゲーム中は登場人物になりきってもらう

■設定

(Aさんの特徴)

年齢:40代後半

勤続15年

IT業界歴:20年

<性格>

至って生真面目な性格だが、頭が硬い

お客さんや上の立場の言う事は絶対主義

口癖は「昔は毎日のように残業をしていた」、「最近の若い奴らは根性がない」

<メンバーについて>

Bさん

仕事に対する考え方が違いすぎて気が合わない

Cさん、Dさん

いまいち何を考えているかわからない。とりあえず根性がないと思込んでいる

・スライド7 (Bさんの特徴)

年齢:30代後半

勤続10年

IT業界歴:18年

<性格>

- ・自己中心的で自尊心が高い
- ・自分の苦手なことや少しでもわからないことがあればすぐに人任せにする癖がある。

口癖は「俺みたいに～しろよ」

<メンバーについて>

Aさん

頭ごなしに色々と言ってきて、オモシロく無い人間だと思っている。

Cさん

気が弱い。オモシロくない

ただ、仕事を丸投げできるので都合がいい

Dさん

最近のお気に入り。可愛がってはいる。

・スライド8 (Cさんの特徴)

年齢:30代前半

勤続5年

IT業界歴:5年

<性格>

- ・極めて真面目であるが、基本的に内気で人付き合いは苦手

- ・好きなことに対しては固執する
- ・本気で怒ると性格が豹変する

<メンバーについて>

Aさん

Bさんのことで相談をしているが、中々取り合ってくれないのもあり何を考えているかわからない

Bさん

理不尽なことをよく言うため、苦手意識を持っている。

Dさん

人間関係でよく悩むため、自分と同じ思いをしてほしくは無い。

- ・スライド9 (Dさんの特徴)

年齢:20歳

勤続0年 (1年目)

IT業界歴:0年

<性格>

- ・自由奔放で常識がない
- ・思っていることはすぐ口に出してしまう。
- ・語尾に「っすね」つくことが多い

■メンバーについて

Aさん

よく常識について問われるが、幾分かは素直に受け止めているが全てが正しいとも思っていない。

Bさん

面白い人だとは思っているが、対応がめんどくさいと思うことがある。

Cさん

よく色々と面倒を見てくれていると思っている。

(ポイント)

Aさん

→取りまとめという立場

Bさん

→担当者 X から作業を依頼され、Cさんに丸投げした

Cさん

→Dさんに作業の進め方を教えた

Dさん

→Cさんに教えてもらった通りに作業を実施した

■問題について（汎用化できるようにしています）

職場で起こりうる問題をそのまま活用してください。

<例>Dさんのせいでプロジェクトの納期が間に合わない。問題、原因はだれなのか？